

## 時鐘

きょう石川県内で開催される「明治の自転車大競走」再現イベントのルート図に見入った▼金沢を出発点に、北は七尾、南は大聖寺を往復する二つのコース。かつて自分が日帰りサイクリングで走った北と南の最長コースとほぼ同じである▼細長い石川県は西には日本海があり、東は倶利伽羅峠の難所が待ち構える。素人が無理せず遠くまで走ろうとすれば、北か南をめざすことになる。北陸初の大会が行われた明治39年は舗装されていない時代。劣悪な道路事情を考えれば、このコースが往復可能な距離だったのだろう▼当時の紙面には、パンクやペダルの破損、荷車や人夫にぶつかるなどして転倒者が続出した、とある。さながら障害物競走だが、沿道の群衆は花火を打ち上げ、満艦飾で選手を大歓迎した。記事を読むと、明治に産声を上げた自転車ロードレースの、湯気が立ち上るようなほやほや感が伝わってくる▼歴史の始まりがあっという間である。何事も源流を知ることが、今を理解するのに役立つ。秋に開催される自転車大会「ツール・ド・のと400」がますます楽しみになってきた。

2023.7.29